

▶ 第4章

「リスク社会」から見た中日米の供給網 ——近年の経験と今後の対応策

上海交通大学日本研究センター 助理研究員

朱 翹楚

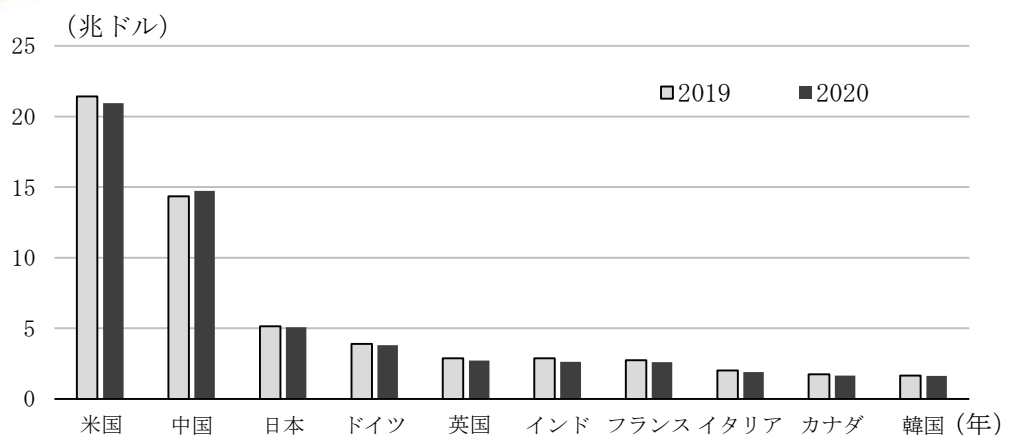
【ポイント】

- ▶ 中日米サプライチェーンは近年、2つの大きな現代リスクを経験した。それは2018年にトランプ政権が仕掛けた米中貿易摩擦と、19年末からの新型コロナウイルスの流行である。「リスク社会」の観点では、米中貿易摩擦はグローバル経済リスクに相当し、貿易摩擦はまさにトランプ政権が国内の経済問題を対処するために行った対外的なリスク移転である。
- ▶ 新型コロナウイルスの流行は、現代リスクの特性を有している典型的な公衆衛生リスクであり、サプライチェーン切断のリスクは2次的な経済リスクである。このリスクに対応するために、サプライチェーンを再編する案が提出されたが、結果的に見て有効ではなかった。
- ▶ 現代社会におけるリスクに対する正しい対応策は、目の前のリスクを他に移転することではなく、国際社会契約、国際組織や国際的なパートナーシップを結ぶことにより取り組むことだと考えられる。



注目データ

新型コロナ前後における主要国のGDP変化



資料：世界銀行の統計データに基づいて作成